



赤平オーキッド

太平洋島嶼国経済復興支援事業 投資セミナー

# 「サモアにおける蘭の栽培と事業化について」

“Cultivation and Commercialization of Orchids in Samoa”

赤平オーキッド株式会社


代表取締役社長 笹尾 健之

# 1、自己紹介

## 笹尾 健之

- 1962年 札幌生まれ
- 1985年～ 株式会社北海道銀行入行  
大麻支店長、留萌支店長、本店副本店長、札幌駅前支店長  
道銀カード株式会社 常務執行役員  
法人部長、営業企画部長歴任
- 2017年4月 DCMホームマック株式会社入社  
取締役執行役員 管理部長兼アグリ事業担当
- 2019年5月 赤平オーキッド株式会社 代表取締役社長(現任)
- 2021年3月 DCM株式会社 上席執行役員 関連会社統制室長
- 2022年9月 株式会社i・e・sリビング倶楽部 代表取締役社長(現任)

## 2、赤平オーキッド株式会社紹介



赤平オーキッド

## 2-1、赤平オーキッドの歴史

### 沿革 ～赤平オーキッド株式会社設立まで～

- 1994年 前身である「株式会社赤平花卉園芸振興公社」設立。  
産炭地区の新しい振興策として、  
赤平市が主体となり第三セクターとして設立。
- 1998年 北海道鉢花生産組合へ加入。
- 2001年 培養設備、増設(クリーンベンチ)。
- 2002年 樹木の組織培養の開始。  
科学技術振興事業団の「独創的研究成果育成事業」に採択。
- 2008年 公社から経営を引き継ぎ、「赤平オーキッド株式会社」設立。





## 2-2、業務内容

### 胡蝶蘭の生産販売事業

年間およそ  
14万株出荷



東北以北で  
最大級の  
生産施設

敷地面積: 15,420㎡  
栽培面積: 5,728㎡



DCM・生花店・葬儀社・市場など BtoB  
直販所・自社ECサイトなどによる BtoC

複数の販売  
チャネルで出荷

## 2-2、業務内容

### 受託培養事業

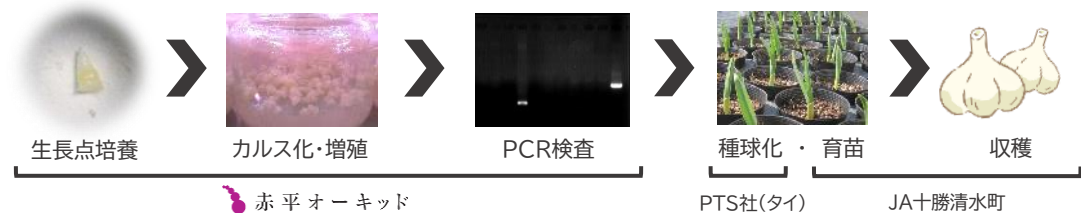


優秀な植物をクローン技術で増やし、  
クリーンな苗を企業・生産者へ供給。

### 取り組み例：JA十勝清水町「ウイルスフリーにんにく」



### にんにくのウイルスフリー化～収穫までの簡易プロセス





### **3、サモアとの取組みのきっかけ**

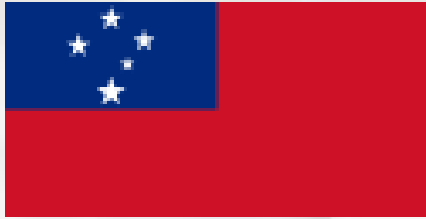


# 3-1、2015年サモア訪問





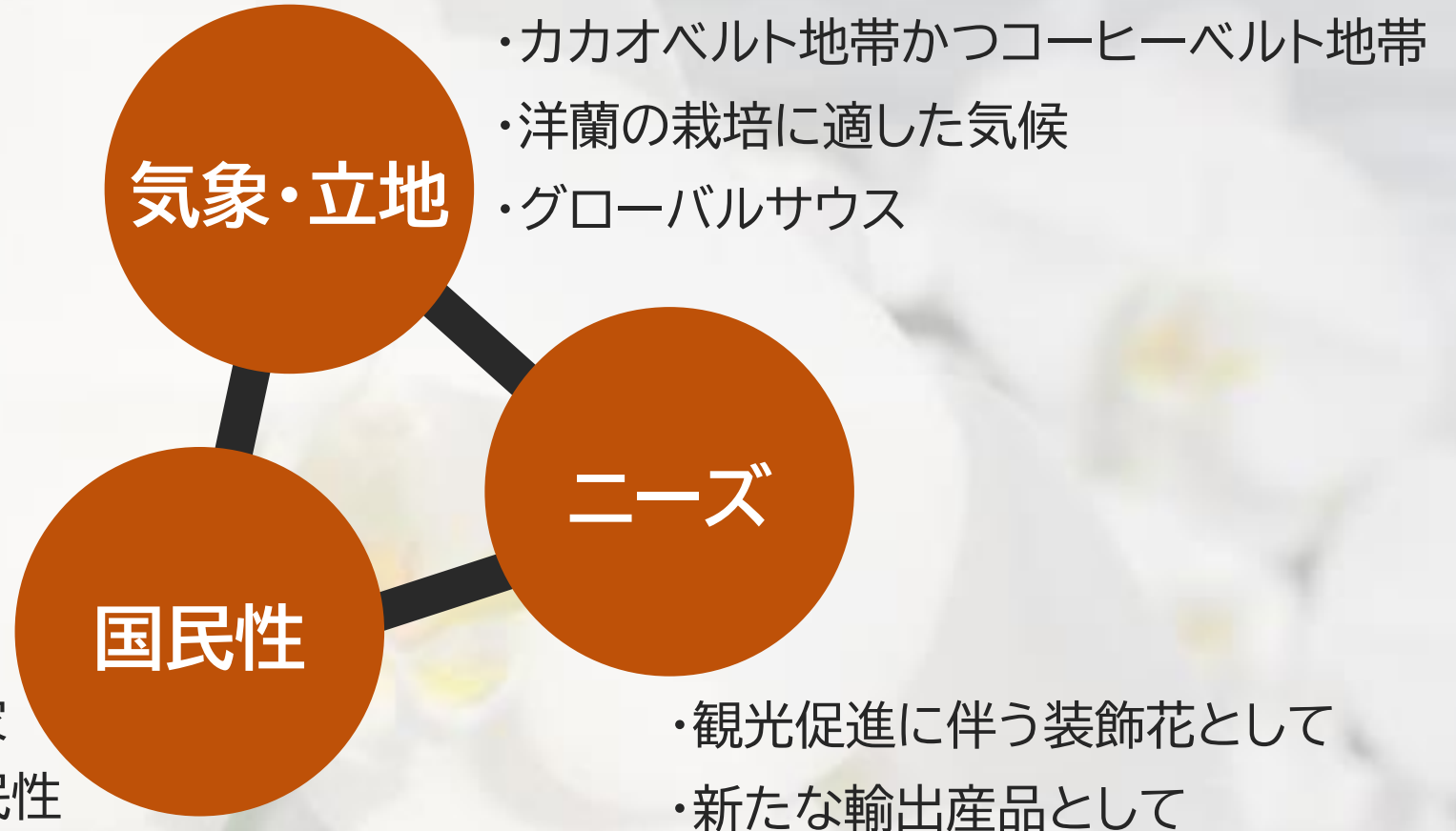
## 3-2、なぜサモアなのか？



サモア独立国

Independent State of Samoa

- ・安定した議会制民主主義国家
- ・おだやかで争いの少ない国民性
- ・勉学について熱心
- ・手先が器用





## 4、現状：メイン事業（胡蝶蘭苗生産）

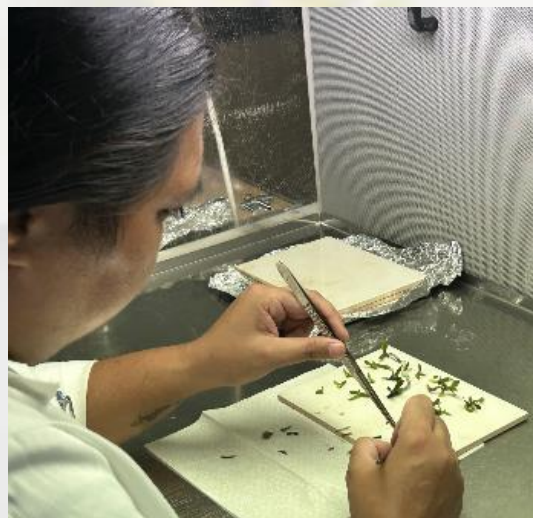
# 4-1、胡蝶蘭生産

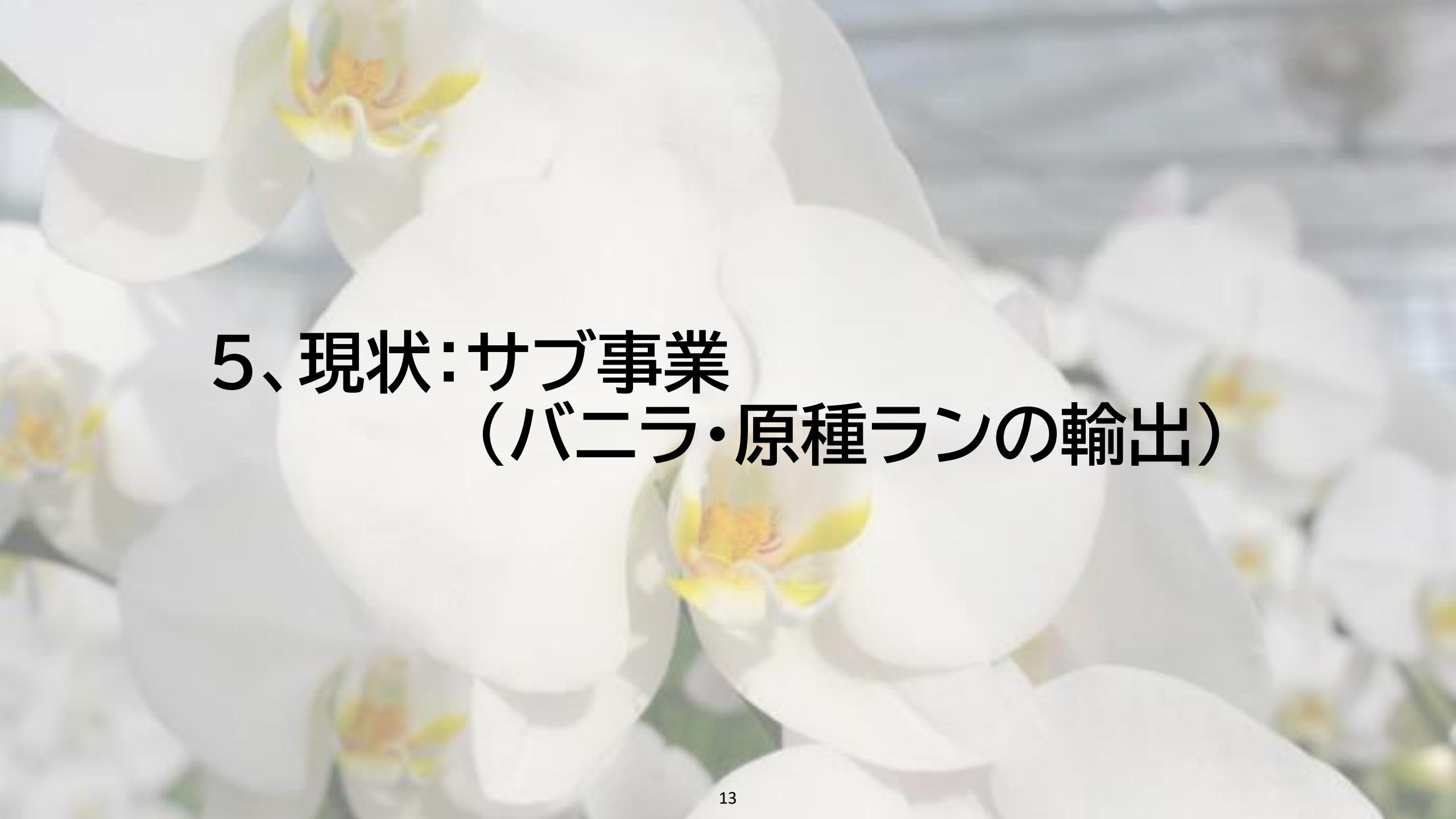


培養技術・苗生産技術、設備、流通面など商用化に向けた課題は多数



## 4-2、草の根事業での取り組み





**5、現状：サブ事業  
（バニラ・原種ランの輸出）**



# 5-1、バニラ生産





## 5-2、原種





## 6、メイン事業の今後の展開

# 6、今後の展開と課題

## 安定生産と苗の輸出に向けて

資金

設備

ガバナンス

技術

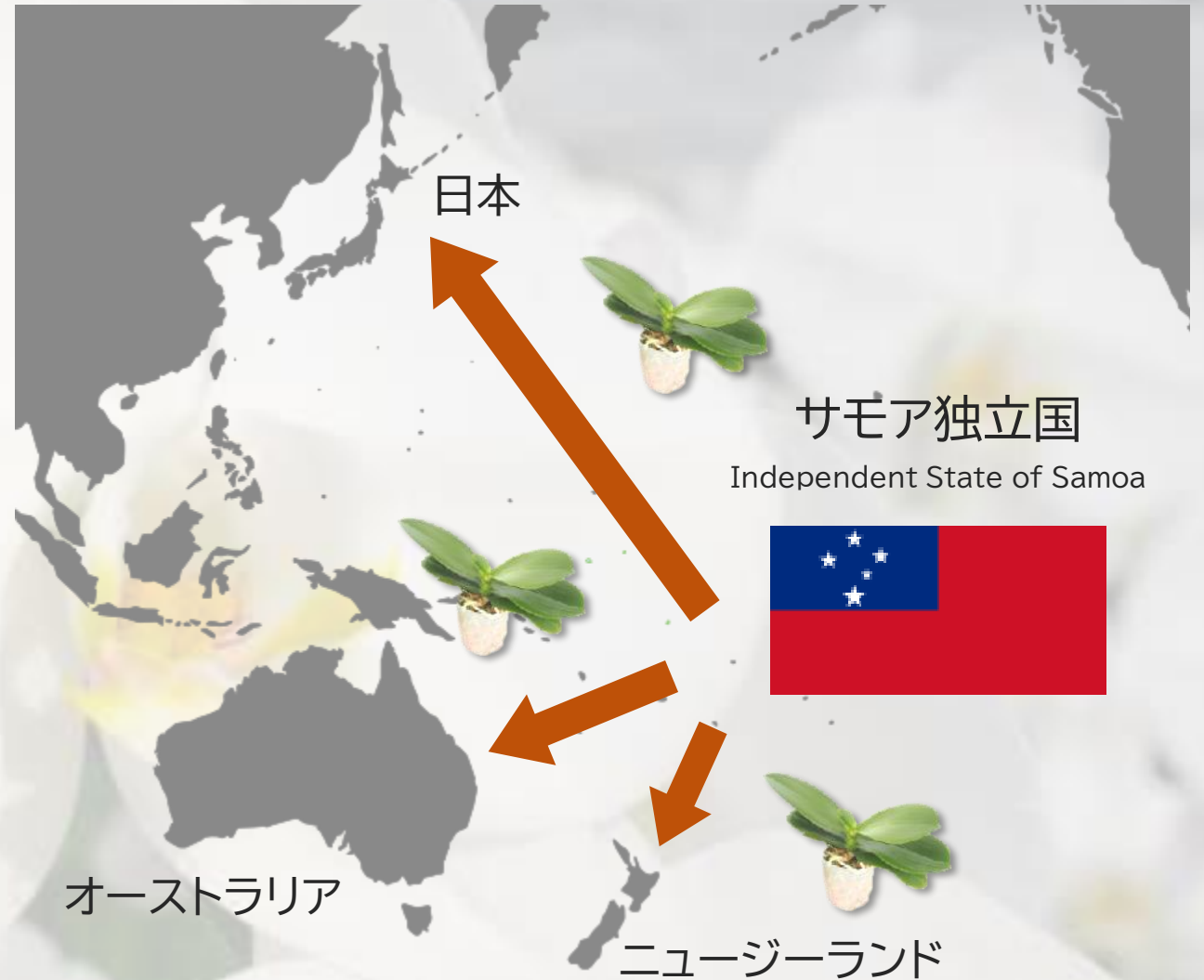
流通

苗の安定生産と輸出には課題多数



「JICA中小企業・SDGsビジネス支援事業  
ニーズ確認調査」

➡現地調査をすすめる







**ご清聴ありがとうございました**